

平成 29 年度

# 社会教育部の運営方針

## <部の構成>

社会教育課、放課後子ども課、文化財課、スポーツ振興課、中央図書館

## <担当事務>

- (1) 社会教育に係る調査研究、企画立案に関すること。
- (2) はたちのつどいに関すること。
- (3) 留守家庭児童会室に関すること。
- (4) 文化財に係る調査研究、保存活用に関すること。
- (5) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (6) 社会体育及びスポーツレクリエーションに関すること。
- (7) 図書館サービスに係る企画・運営に関すること。
- (8) 所管施設の管理運営に関すること。

## <部の職員数>H29年4月1日現在

正職員	81名
再任用職員	7名
任期付職員	231名
非常勤職員	65名
合計	384名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

社会教育部は、基礎的な知識や技術等について学べる機会の提供、知の源泉となる図書館の充実、文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくり、児童の放課後対策などに関する事務を担っています。

平成 29 年度は、「社会教育の推進」、「児童の放課後施策の推進」、「歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）」、「スポーツ施策の推進」、「総合スポーツセンター駐車場の拡張整備」、「香里ヶ丘図書館の建替え事業」、「学校図書館支援事業」、「生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入」を重点施策として推進し、人とまちを支える社会教育の推進を図るとともに、他部署との連携を図りながら、児童の放課後環境の整備に取り組みます。

## 2. 重点施策・事業

### (1) 社会教育の推進

目標	生涯学習の一助となる、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供し、学習する主体の形成を図ります。
取り組み	子育てや親への支援を行う「家庭教育支援事業」、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ「社会教育基礎講座」、人権を擁護し、尊重することの大切さについて、市民の気づきを促す「社会教育人権啓発事業」等を開催します。実施にあたっては、必要な人に必要な情報が的確に届くよう、効果的な情報発信に努めます。
	平成 29 年度当初予算： 512 千円

## (2) 児童の放課後施策の推進

目標	留守家庭児童会室事業について、平成 29 年度からの対象学年の段階的拡大にあたり、引き続き、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行います。 また、児童の放課後環境の整備を図るため、全児童を対象とする放課後対策の具体化に向けた検討を進めます。
取り組み	桜丘留守家庭児童会室の建替え及び磯島留守家庭児童会室の増築(老朽化対策を含む)を実施します。 また、全児童対象の放課後対策については、国の「放課後子ども総合プラン」を踏まえ、さまざまな立場からの意見を聴取し、各学校への具体的な導入方法を検討します。 平成 29 年度当初予算：208,500 千円

## (3) 歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）

目標	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後 40 年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。
取り組み	引き続き、再整備工事を行い、伽藍を構成する主要な建物である堂塔院の東塔・中門等の基壇の整備を実施します。寺域外郭の東南部分の築地塀を立体復元するための設計のほか、古代寺院の伽藍をイメージしやすいように推定復元図を作製し、百済寺への理解を深めます。 平成 29 年度当初予算：171,012 千円

## (4) スポーツ施策の推進

目標	平成 29 年 3 月に策定した「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツと関わる各関係部署・団体等と協働体制を確立し、各種スポーツ活動の推進と施設の利用環境の整備に向けた取り組みを進めます。
取り組み	「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、各所管部署での取り組み施策とそれに基づく事業を実施します。また、本計画で実施する事業を継続的に改善していくため、PDCA サイクルの手法により、事業内容の点検・評価・改善を図り、その内容を枚方市スポーツ推進審議会において点検・評価を行い、助言を受けながら進行管理を行います。 平成 29 年度当初予算：477 千円

## (5) 総合スポーツセンター駐車場の拡張整備

目標	総合スポーツセンター駐車場拡張事業用地 6866.68 m <sup>2</sup> のうち、平成 28 年度に取得した 3441.34 m <sup>2</sup> の残地 3425.34 m <sup>2</sup> を平成 29 年度に取得し、第 2 駐車場として整備します。
取り組み	総合スポーツセンター駐車場拡張事業用地について、平成 29 年度に残地の買戻しを行い、整備工事を行います。 平成 29 年度当初予算：731,289 千円

<b>(6) 香里ヶ丘図書館の建替え事業</b>	
<b>目標</b>	香里ヶ丘地域においては、地域の活性化を図るため、隣接する香里ヶ丘中央公園の再整備とあわせて、老朽化した香里ヶ丘図書館の建替えを推進します。図書館の建替えにあたっては、民間ノウハウをより効果的に生かせるよう、プロポーザル方式により設計事業者を選定します。
<b>取り組み</b>	香里ヶ丘図書館建替工事設計業務については、平成 29 年度中に公募型プロポーザル方式による選定手続きを進めます。 平成 29 年度当初予算：16,702 千円

<b>(7) 学校図書館支援事業</b>	
<b>目標</b>	読書好きの子どもを育み、児童・生徒の学力向上につながるよう、小中学校において学校図書館と市立図書館とのコンピューターネットワークを利用した蔵書の有効活用を進めます。
<b>取り組み</b>	小中学校に対して、団体貸出及び配本事業の充実、学校訪問おはなし会等の実施、学校図書館への学校司書の派遣を行い、学校図書館支援を強化します。 学校図書館の蔵書のデータベース化・オンライン化により、市立図書館と連携させることで、学校図書館の蔵書や市立図書館の蔵書をより有効に活用する取り組みを進めます。 平成 29 年度当初予算：4,912 千円

<b>(8) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入</b>	
<b>目標</b>	楠葉・御殿山・津田・菅原の 4 カ所の生涯学習市民センターと図書館の複合施設についても、平成 30 年度からの導入に向け取り組みを進めます。
<b>取り組み</b>	平成 28 年度からの蹉跎・牧野の先行 2 施設における導入状況を踏まえ、モニタリングなどによる検証のもと、平成 30 年度からの 6 施設への導入に向けて選定・指定等の手続を進めます。 平成 29 年度当初予算：90,432 千円

### 3. 行政改革・業務改善

#### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者駐車場の有料化の実施	所管する施設（図書館、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター等）の駐車場有料化に向けての課題整理を行い、運用手法等について検討を行います。

改革課題	取り組み内容・目標
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との整理・調整を行い、今後は、管理時間帯にかかわらず施設毎（体育館、運動場他）に施設開放事業を行うことを決定しました。また、引き続き、電気使用料等の実費相当額の負担について具体化を検討します。
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	埋蔵文化財発掘調査の実施手法の見直しや、歴史資料収集整理・民俗文化財関係・資料館学芸員業務を含めた専門的業務体制の整備について検討を行うなかで、（公財）枚方市文化財研究調査会と行政との役割分担など調査会のあり方について検討します。 （公財）枚方体育協会については、平成 29 年 4 月に策定した「経営計画 2017（第 2 期）」（H29～H33）に沿った運営が行われているか進捗管理を行います。
37. 留守家庭児童会室の効率的・効果的な運用	国の「放課後子ども総合プラン」を踏まえ、留守家庭児童会室と全児童を対象とした放課後対策の一体的な推進に向けた検討を進めます。
38. 野外活動センターの最適化	「学校キャンプ支援事業」を継続実施するとともに成果を検証し、センターを効率的かつ効果的に運営するため、利用実績等を分析して、利用者ニーズに即した施設の最適化を進めます。
39. 図書館施設の効率的・効果的な運営	「枚方市立図書館第 3 次グランドビジョン」に基づき、分室や自動車文庫についての基本的な方向性等について「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方（案）」としてまとめました。今後、地域団体・関係団体との協議を進め、大きな変更を行う分室については、別途、個別の見直し計画を策定します。
40. 指定管理者制度の拡大	市営テニスコート（藤阪東町中央公園テニスコート・春日テニスコート）について、平成 29 年 4 月より指定管理者制度を導入しました。 東部公園については、東部スタジアムへ平成 29 年度に設置する、夜間照明の電気使用量を検証し、制度導入に向けて、準備を進めます。 生涯学習市民センターと図書館の複合施設である 2 施設（蹉跎・牧野）に指定管理者制度を導入し、制度の運用状況の検証を行ったうえで、楠葉・菅原・御殿山・津田を含む複合 6 施設への導入に向け手続きを進めていきます。
45-2. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（留守家庭児童会室営繕業務）	営繕業務については、緊急性を要することが多く、迅速な対応が必要ですが、より効率的・効果的な運営の観点から、一部業務委託に向け、委託可能な業務の整理を行います。

改革課題	取り組み内容・目標
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と、教育委員会が所管するスポーツ施設について、効率的・効果的な運営を図るため、平成31年度の管理運営体制の一元化に向けて方向性を定め準備を進めます。

#### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
ノ一残業デーの徹底	社会教育部では、職員の健康管理等の観点から、毎週水曜日のノ一残業デーの徹底を図ります。

## 4. 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業に国庫補助金・府補助金の活用を図ります。(5件 7272万4000円)
- ◆香里ヶ丘図書館建替え事業に社会資本整備総合交付金(国費)の活用を図ります。(平成29年度、365万円)

## 5. 組織運営・人材育成

- ◆質の高いサービスを提供するため、文化財行政やスポーツ行政、図書館行政など、各分野の職員が日常業務や職員研修を通じて、担当する分野の専門的な知識や技術を習得し、資質の向上を図ります。また、留守家庭児童会室の保育の資の向上を図るため、放課後児童支援員及び准支援員に対する体系的な職員研修を行います。

## 6. 広報・情報発信

- ◆市民の日々の暮らしに役立ち、健康で豊かな人生を歩むための各種社会教育事業の開催に係る情報が、それを求める多くの市民に届くよう、さまざまな媒体を使って広報に努めます。
- ◆毎月の図書館行事や新着図書案内として、各図書館及び分室、市内各施設、市議会などへ「図書館だより」等を配布するとともにホームページでの掲示などにより、市民等に周知を図っています。
- ◆中・高校生向けの本のリスト「中学生・高校生向けのおすすめの本」を市内各中学校、高校へ配布し、図書館について周知するとともに読書意欲の向上を図っています。